

本研究にご協力頂けるみなさま及びそのご家族の方へ

—「遺伝およびがんゲノム啓発を目的とした教育効果の検証」へご協力のお願い—

研究責任者

岡山大学教育学部 客員研究員 十川麗美

研究分担者

岡山大学学術研究院 医歯薬学域 臨床遺伝子医療学 教授 平沢晃
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 臨床遺伝子医療学 講師 山本英喜
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 臨床遺伝子医療学 大学院生 浦川優作
岡山大学医学部 臨床遺伝子医療学 客員研究員 植野さやか
岡山大学病院 臨床遺伝子診療科 技術職員 二川摩周
岡山大学病院 臨床遺伝子診療科 技術職員 加藤芙美乃
岡山大学総合技術部教育支援技術課（医） 技術職員 山下範之
岡山大学病院 看護部 看護師 谷村弥生
岡山大学病院 ゲノム医療総合推進センター 准教授 富田秀太
岡山大学大学院学術研究院 教育学域 特別支援教育 教授 大守伊織
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 臨床遺伝子医療学 助教 深野智華

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

近年、がんは中高年のみの病気ではなく、若い人々を含めた国民全体の課題です。現在、学校教育の中でがん教育が推進されてはいるものの、ヒト遺伝学やゲノム医学に関する記載が少なく、予防やがん検診を中心としたものが多いです。その上、一般の方々は医学教育を受けていないため、遺伝やがんなどの情報を求めた際に、判断に迷うことや誤解が生じることが予想されます。

しかし、効果的な情報提供の内容や教材媒体の種類、啓発活動の実施方法はわかっていません。この研究の目的は、対象者の知識や意識変化をレクチャー前後に質問紙調査で評価（比較）することでがんゲノムおよび遺伝に対する効果的な方策を明らかにします。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

一般市民が急速に拡大するがんゲノム医療および遺伝医療において判断に迷うことや誤解が生じることを解消することで医療機関受診前に正しい知識を身につけ、がんに限らず様々な病気に対する関心を向上させ、地域で実現可能な健康管理や予防に繋がることが期待されます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

研究目的に賛同し、同意が得られ、まんが教材を理解できる方 1000 人を対象とします。なお、未成年の患者さんに参加していただくのは教育効果の検証を比較するためであるためご協力をお願いいたします。

2) 研究期間

2020 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日（研究対象者登録締切日：2026 年 12 月 31 日）

3) 研究方法

本研究では、研究者対象者に対して、無記名自記式質問紙調査もしくは Web 上でのアンケートを実施します。一般の方々の知識や意識の現状調査するために講義形式のレクチャーまたは動画配信を行い、レクチャー前後において質問紙調査もしくは Web 上でのアンケートを実施し、比較することで啓発活動の効果的な方策を明らかにします。研究の主要評価項目として、レクチャー前後の知識・関心を数値化します。本研究を通して、対象者や地域ごとの特性を生かして地域活動の中で効果的に健康管理や予防に繋がる最善策を見出します。

4) 使用する情報

以下の項目について、レクチャーを実施し、また、質問紙への回答を依頼し、そのデータを本研究に利用させていただきます。

- 1) 対象者の基本情報：年齢、性別、所属、学部、医療関係者かどうか、学習経験の有無
- 2) がんと遺伝に関する知識問題
- 3) がんと遺伝に関する関心

5) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、岡山大学病院施設可能な場所で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施設可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究はあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

〒700-8530 岡山市北区津島中 1 丁目 1 番 1 号

岡山大学 教育学部

担当者氏名：十川 麗美